

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動・国連支援募金 令和4年度の啓発活動状況

～新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえて～



厚生労働省、都道府県、(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターが主催し、国連薬物・犯罪事務所(UNODC)、警察庁など関係省庁の協賛及びボイイスカウト、ガールスカウト、ライオンズクラブ、ロータリークラブなどの民間団体の後援のもとに「ダメ。ゼッタイ。」普及運動及びその一環としての「6・26ヤング街頭キャンペーン」を、6月27・28日を中心に約一ヵ月間、各都道府県で実施する予定としていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和4年度も昨年度と同様に、地域の実情に配慮した上で実施することとなりました。

本普及運動は、国内における薬物乱用防止活動において官民一体となり、国民一人一人の薬物乱用問題に関する意識を高めるとともに国連総会決議に基づく「6・26国際麻薬乱用撲滅デー」の周知を図ることにより、内外における薬物乱用防止に資することを目的としています。

この普及運動と並行して、(公財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターでは、麻薬乱用防止活動に従事する民間団体の活動資金を国連を通じて支援するための「国連支援募金」運動を実施し、本年も全国から善意の浄財が集まりました。

また同期間中には、各種薬業関係団体、理美容、クリーニング、浴場、飲食業等の各環境衛生同業組合等のご協力により、店頭でののぼり、ポスター掲出による啓発、募金運動などを行なう「地域団体キャンペーン」も地域の実情に沿った運営方式により実施されました。

以下、感染拡大防止を踏まえた都道府県ごとの啓発活動の取り組み状況をご報告いたします。

「『ダメ。ゼッタイ。』普及運動」における街頭キャンペーン

厚生労働大臣メッセージ

今日、覚醒剤、大麻、麻薬などの薬物の乱用が深刻な社会問題となっています。

これらの薬物を乱用すると、自分の意思では止めることが極めて難しくなります。自らの体や心をむしばむだけでなく、家族や周りの人々にも大きな影響を与えるため、絶対に使用してはいけません。

大麻の検挙者数が五年連続で過去最多を更新し続けています。とりわけ、若年層の大麻乱用が顕著で、大麻の検挙者数の約七割を三十歳未満が占めています。

SNS等では、「大麻は害が少ない」といった誤った情報が拡散していますが、大麻は脳に影響を及ぼすものであり、若年期からの大麻使用が乱用と依存の危険性を高めることが懸念されています。

覚醒剤、大麻、麻薬などの薬物乱用から自分自身を守るためには、どんな人から誘われても、きっぱりと断る勇気を持つことが何よりも大切です。皆様一人ひとりが、薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」を合言葉に、薬物乱用防止の輪を大きく広げていただき、ともに薬物乱用の無い社会を作ってくださいましょう。

令和四年六月二十五日

厚生労働大臣 後藤茂之

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動・啓発メッセージ動画の放映状況

●スタジアム

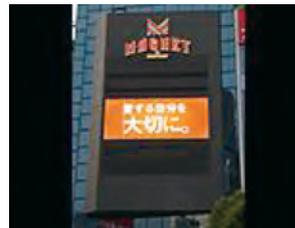


【東京ドーム】



【横浜スタジアム】

●屋外大型ビジョン



【109フォーラムビジョン(渋谷/ハチ公前)原宿表参道ビジョン(神宮交差点)】

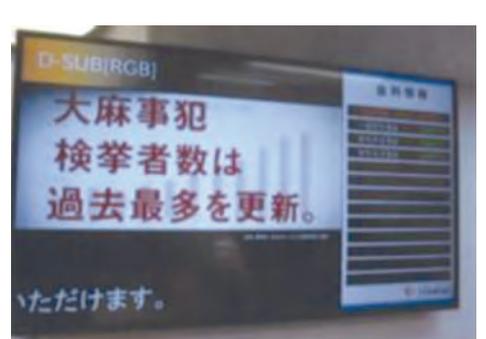
●大分県における放映状況



【県庁内デジタルサイネージ】



【県庁内ワクチン接種センター】



【大分県信用組合デジタルサイネージ配信状況】

北海道

月 日	活動主体	活動状況
6月20日から7月19日まで (地区により新型コロナウイルス感染症の影響により、時期を変更して実施)	北海道警察本部、北海道薬物乱用防止指導員連合協議会、北海道薬物乱用防止指導員各地区協議会(21地区)、ヤングボランティア(ボースカウト、ガールスカウト、中学生、高校生、大学生等)、業界関係団体、保護司会、青少年育成団体、関係行政機関等	①6・26ヤング街頭キャンペーン 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止。 ②地域団体キャンペーン 道内の薬局、薬店、道の駅、温泉、スーパー、関係行政機関等の協力を得て、麻薬・覚醒剤等の乱用防止に関するリーフレット及びポスターの配布を行うとともに、協力団体の店頭でのポスター掲示及び国連支援募金箱設置等の協力要請。



北海道

青森県

月 日	開催場所	活動主体	参加人数	活動状況
6月26日	(弘前市)さくら野百貨店弘前市	主催 青森県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会 協力団体 一般社団法人弘前薬剤師会、医薬品登録販売者協会、医薬品配置協会、ライオンズクラブ、青森県薬物乱用防止指導員弘前地区協議会、青森県	(弘前市)86名	6・26ヤング街頭キャンペーン 例年、青森市、弘前市、八戸市の3か所にて6・26ヤング街頭キャンペーンとして、通行人等に対し啓発用パンフレット、バンソウコウ等の配布をすることもに薬物乱用防止の呼び掛けを行い、併せて「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金活動を行っているところである。令和4年度については、新型コロナウイルス感染症流行の状況を踏まえ、弘前市のみで実施した。



青森県

岩手県

活動状況
①6・26ヤング街頭キャンペーン 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、街頭キャンペーン未実施。 ②地域団体キャンペーン 県薬剤師会、県生活衛生同業組合等の協力店舗においてポスター掲示、薬物乱用防止の呼び掛けを行った。 その他、夏の高校野球岩手県大会会場内に啓発横断幕を設置し、広く県民に対し薬物乱用防止の普及啓発を行った。



岩手県

宮城県

活動状況
6・26ヤング街頭キャンペーン 昨年に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から県主催のキャンペーンは中止とした。 地域団体キャンペーン 各地区で行われる「ダメ。ゼッタイ。」普及運動については、各地区の実情に合わせて実施するように通知した。

秋田県

月 日	6月20日～7月19日
開催場所	北秋田市ふれあいプラザ コムコム（パネル展示） 能代市役所（ポスター展示）
活動主体	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動 秋田県実行委員会 ・大館鹿角地域実行委員会 ・本荘由利地域実行委員会 ・鷹巣阿仁地域実行委員会 ・大曲仙北地域実行委員会 ・能代山本地域実行委員会 ・横手平鹿地域実行委員会 ・秋田周辺地域実行委員会 ・湯沢雄勝地域実行委員会

活動状況

①6・26ヤング街頭キャンペーン
新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、イベントは中止
鷹巣阿仁地域実行委員会が主体でパネル展、能代山本地域実行委員会が主体でポスター展示会を開催
②地域団体キャンペーン
「ダメ。ゼッタイ。」普及運動地域実行委員並びに薬物乱用防止指導員等の協力により、薬局や病院等にてポスターの掲示、リーフレットの配布、募金箱の設置、各団体の会合等での呼びかけ（趣旨の周知、募金への協力）、新聞広告による周知を行った。

山形県

月 日	6月20日～7月19日
開催場所	①6・26ヤング街頭キャンペーン JR山形駅東西自由通路 ②地域団体キャンペーン 県内各地
活動主体	山形県、県内各関係団体
参加人員	6人（①6・26ヤング街頭キャンペーン）

活動状況

①6・26ヤング街頭キャンペーン（6月26日（日）13:30～15:00）
JR山形駅東西自由通路において、薬物乱用防止啓発パネルとのぼりを掲示し、薬物乱用の危険性の周知を図った。また通路歩行者に対し、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動のリーフレット、薬物乱用防止啓発ティッシュ等の配布を行った。
②地域団体キャンペーン
39協賛団体にポスター、リーフレット、募金箱を送付し、各団体構成員への薬物乱用防止の啓発及び国連支援募金活動への協力を依頼した。
③その他
県・各公所でポスター、募金箱を設置し、薬物乱用防止の啓発及び国連支援募金活動への協力を依頼した。新聞に掲載される県政広報欄や県政ラジオ広報、県SNSでの薬物乱用防止の呼びかけを行った。
県ホームページにポスター等を掲載し「ダメ。ゼッタイ。」普及運動について広く県民に広報した。
県庁ロビーに設置されたモニターで「それってホント？事例でみる薬物乱用DVD」と「令和4年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動キャンペーン啓発メッセージ動画」を放映し、薬物乱用防止を強く呼びかけた。

秋田県



山形県



福島県

月 日	6月20日～7月19日
開催場所	二本松市、会津若松市、喜多方市、会津美里町、いわき市 計5ヶ所（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して実施した。なお、8月に郡山市にて、奥羽大学薬学部学生と共同で地域団体キャンペーンを実施予定。）
活動主体	県、県薬物乱用対策推進本部、「ダメ。ゼッタイ。」県普及運動実行委員会、各地区薬物乱用防止指導員協議会（県内16地区）、関係団体

活動状況

①地域団体キャンペーン
関係行政機関、企業、薬局、中学校、高校、専門学校、大学、警察署等の協力を得て、ポスター掲示やパンフレット配布を行うとともに、国連支援募金活動を通じて、一般住民等への啓蒙活動を行った。若年層への啓発活動においては、若者を含む多くの人の目に触れやすい駅や自動車教習所、又、高等学校登校時等に啓発資材を配布し、薬物乱用防止を呼びかけた。
②その他
41協賛団体に対して、各団体構成員への薬物乱用防止の啓発及び国連支援募金活動への協力を依頼した。

福島県



茨城県

月 日	6月20日～7月19日
開催場所	①6・26街頭キャンペーン…水戸市(他の地域では新型コロナウイルス感染症拡大のため学校やショッピングセンターの展示スペースでのパネル・ポスターの展示、資材配布を実施) ②地域団体キャンペーン…県内各地
活動主体	茨城県、茨城県薬物乱用対策推進本部、茨城県薬物乱用防止指導員協議会、関係団体、関係機関
参加人員	72名(水戸市 キャンペーンの参加人数)
活動状況	①6・26街頭キャンペーン 水戸駅前で薬物乱用防止指導員、薬事関係団体、ライオンズクラブ、青少年育成協会、市町村、警察等の協力を得て、リーフレット、マスク、ポケットティッシュ等の啓発資材を配布し、薬物乱用防止を呼びかけた。また、その他の地区においては、新型コロナウイルス感染症拡大のため学校やショッピングモールの展示スペースにおいて、パネルやポスターの展示、啓発資材の配布を実施した。 ②地域団体キャンペーン 県内の薬局等の薬事関係施設、理・美容所、旅館等の生活衛生営業施設、食品関係施設、病院・診療所、大学・専門学校等約3,000の店舗・施設の協力を得て、ポスターの掲示やリーフレットの配布を実施した。併せて店頭等に募金箱を設置し、国連支援募金への協力を呼びかけた。 ③その他 夏季茨城県高等学校野球大会会場(5球場)において横断幕の掲示を行い、選手、来場者、ケーブルテレビ視聴者に対する啓発を行った。 また、茨城空港、県庁2階広報コーナーにおいて、薬物乱用防止啓発パネル及び薬物標本の展示を行った。大洗駅、県庁2階広報コーナーにおいて、啓発メッセージ動画の放映を行った。

栃木県

月 日	6月20日～7月19日
開催場所	県内一円
活動主体	栃木県、宇都宮市
参加人員	約160名
活動状況	①6・26ヤング街頭キャンペーン



茨城県

群馬県

月 日	6月20日～7月19日
開催場所	6・26ヤング街頭キャンペーンは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。 県内各地区において地域団体キャンペーンを実施した。
活動主体	群馬県、前橋市、高崎市、群馬県薬物乱用対策推進本部、群馬県「ダメ。ゼッタイ。」薬物乱用防止推進連絡会議、「ダメ。ゼッタイ。」各地区推進連絡会議(12地区)、関係団体(薬剤師会、保護司会、民生委員児童委員協議会、少年補導員連絡会、医薬品配置協会、ライオンズクラブ、更生保護女性会、食品衛生協会、ロータリークラブ、ボーイスカウト、ガールスカウト等)
活動状況	①地域団体キャンペーンとして、薬局や飲食店、理容店、クリーニング店、旅館等の協力を得て、ポスター掲示や店頭リーフレットやポケットティッシュの設置、募金箱を設置してもらい国連支援募金活動への協力を呼びかけた。

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大が見られる状況を鑑み、街頭キャンペーンは実施しないこととした。
②地域団体キャンペーン
県内の各市町、警察署、各関係機関等の協力を得て啓発ポスターの掲示やリーフレットの配布を行った。また、来庁者に対してリーフレットや啓発資材を配布したり、国連支援募金への協力を呼びかけた。
③その他
県ホームページや県公式Twitter、地元テレビの県政報道企画を活用し、薬物乱用防止を呼びかけた。また、県庁の企画展示コーナーに薬物乱用防止に関する展示をしたり、県内の小学5・6年生、中学生及び高校生に対して啓発リーフレットを配布するなど、薬物に関する正しい知識の普及啓発に努めた。

②各市町村教育委員会・警察署の協力を得て、各小・中・高等学校内や警察署内でポスターを掲示した。
③保健所等の関係施設の敷地内に横断幕やのぼり旗を設置し、地域住民に周知した。
④市町村の広報誌やラジオ、インターネット等を活用し、広く住民に広報した。
⑤7月9日から27日までの期間、第104回全国高等学校野球選手権群馬大会が実施された上毛新聞敷島球場及び高崎城南野球場に「ダメ。ゼッタイ。」の横断幕を掲出した。
⑥7月2日にサスパクサツ群馬の試合会場にて、群馬県警察本部と合同で、来場者に対し薬物乱用防止啓発を実施した。

埼玉県

月 日	6月20日～7月19日
開催場所	イオンモール川口前川店、JR武蔵野線北朝霞駅及び東武東上線朝霞台駅ロータリー付近、越谷市民球場、JR大宮駅東西連絡通路、アリオ鷺宮
活動主体	埼玉県、埼玉県薬物乱用防止指導員連合協議会、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動埼玉県実行委員会、埼玉県警察本部、埼玉県教育委員会、各市町村、(一社)埼玉県薬剤師会、ライオンズクラブ3301C地区、日本ボーイスカウト埼玉県連盟など
参加人数	約1000人
活動状況	①6・26ヤング街頭キャンペーン 駅頭等において、のぼり等を掲示するとともに、リーフレット及びうちわ等の啓発資材を配布した。 ②地域団体キャンペーン 関係団体の店頭等にポスター掲示及び募金箱設置を行い、国連支援募金の呼びかけを行った。 ③その他 県広報誌や市町村広報紙等の様々なメディアを活用し、薬物乱用防止の広報を実施した。また、県内の学校や関係団体・企業へリーフレットを配布し、国連支援募金の呼びかけを行った。



埼玉県

千葉県

月 日	6月20日～7月19日
開催場所	行政機関(県庁、保健所)等
活動主体	千葉県、千葉県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会、千葉県薬物乱用防止指導員協議会
活動状況	①6・26ヤング街頭キャンペーン 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、街頭キャンペーンは中止とした。 ②地域団体キャンペーン 医師会、歯科医師会、薬剤師会、薬業会、理容生活衛生同業組合、美容業生活衛生同業組合、クリーニング生活衛生同業組合等の協力を得て、関係施設にポスターの掲示及び国連支援募金箱を設置し、薬物乱用防止を訴えた。 ③広報啓発活動 県ホームページ、ツイッター、テレビ、ラジオCM等の媒体を通じて薬物乱用防止を訴えた。



東京都

月 日	6月20日から7月19日まで
開催場所	行政機関(都保健所 他)
活動主体	東京都、東京都薬物乱用対策推進本部、東京都薬物乱用防止推進協議会、関係行政機関、関係民間団体 等
活動状況	①6・26ヤング街頭キャンペーン 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、「令和4年度『6・26国際麻薬乱用撲滅デー』都民の集い」の開催を中止とした。 ②地域団体キャンペーン 関係行政機関及び民間団体等にリーフレット及びポスターの配布を行うとともに、協力団体の店頭でのポスター掲示及び国連支援募金箱の設置等の協力要請を行った。 また、関係行政機関において薬物乱用防止啓発ブースを設置し、来所者に対し薬物乱用防止を訴えた。 ③その他 都ホームページ、都広報誌、新聞などのメディアや、都保健所のデジタルサイネージを活用し、薬物乱用防止に関する内容を掲載した。 また、Twitter、YouTube、LINE、Yahoo!で啓発動画を放映し、主に若年層に対して薬物乱用防止を訴えた。



千葉県

神奈川県



東京都
(東京都健康安全研究センター)

月 日	7月15日ほか
開催場所	横浜スタジアム等
活動主体	県薬剤師会、神奈川県、薬物クリーンかながわ推進会議(薬物乱用防止指導員協議会、麻薬等薬物相談員会、保護司会連合会、横浜税関、県内関係機関等182団体)、市町村、教育委員会、県警察本部等
参加人員	約1700名(横浜スタジアム)
活動状況	薬物クリーンかながわ推進会議が中心となり、「ダメ。ゼッタイ」普及運動の実施期間中に県内各地において、各関係機関・団体及び市町村にポスターの掲示、募金箱の設置等を依頼し、薬物乱用防止の働きかけを行った。 特に、7月15日に横浜スタジアムにおいて、県警察本部等と共に「ダメ。ゼッタイ」普及運動街頭キャンペーンを実施した。着ぐるみ「ダメ。ゼッタイ。君」も駆けつけ、リーフレット等の啓発資料の配布による薬物乱用防止の呼びかけを行うとともに、横断幕やポスターを活用し、普及啓発を行った。 その他、県内大学において各大学が学生向けの情報提供を目的に開設しているサイトを活用し、県内の大學生に向けて薬物乱用防止を呼び掛けた。

新潟県



神奈川県

活動主体	新潟県、新潟県薬物乱用対策推進本部(新潟県教育委員会、新潟県警察本部、新潟地方検察庁、新潟海上保安部、新潟保護観察所、新潟税関支署、新潟労働局、新潟少年鑑別所、東京出入国在留管理局新潟出張所、一般社団法人新潟県医師会、新潟県精神科病院協会、公益社団法人新潟県薬剤師会、新潟県市長会、新潟県町村会)、新潟県薬物乱用防止指導員、一般社団法人新潟県歯科医師会、新潟県青少年健全育成県民会議、社会福祉法人新潟県社会福祉協議会、日本ボーイスカウト新潟連盟、一般社団法人ガールスカウト新潟連盟、国際ロータリー第2560地区ガバナ―事務所、ライオンズクラブ国際協会3331A地区、公益社団法人新潟県防犯協会、公益社団法人新潟県食品衛生協会、公益財団法人新潟県生活衛生営業指導センター、一般社団法人新潟県医薬品登録販売者協会、新潟県医薬品配置協議会、日本医薬品卸動務薬剤師会新潟県支部、新潟県高等学校野球連盟、新潟県ラグビーフットボール協会
------	--

活動状況

- ①新潟県警察ノードラッグ大使の動画を活用したSNS広告
新潟県警察ノードラッグ大使のZecico(アイドルユニット)からいただいたメッセ―ジ動画をYouTubeに広告として掲載し、薬物乱用防止を呼びかけた。
※「6・26ヤング街頭キャンペーン」の代替となる普及啓発活動
- ②若年層への薬物乱用防止講演会
新潟県警察と連携し、専門学校の学生向けに講演会を開催した。
- ③その他
全国高等学校野球選手権大会期間中、会場のハードオフエコスタジアムに薬物乱用防止啓発の横断幕を掲出し、高校生をはじめ広く県民に啓発した。
県庁構内等で薬物乱用防止啓発の横断幕ポスターを掲出するとともに、庁舎内の生協売店や金融機関等に国連支援に係る募金箱を設置し、来庁者等に対して啓発を行い、募金の協力を呼びかけた。



新潟県

富山県

活動主体

富山県薬物乱用「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会(41団体)

活動状況

①6・26ヤング街頭キャンペーン
新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、街頭キャンペーンは中止とした。

②地域団体キャンペーン

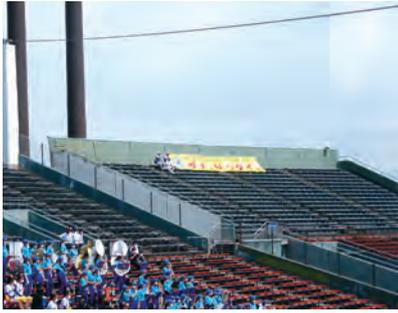
富山県薬物乱用「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会参加団体の協力を得て、店頭等でのポスターの掲示や啓発資材の配布を行った。また、国連支援募金運動への協力を呼び掛けた。

③その他

第104回全国高等学校野球選手権富山大会において、会場での横断幕・ポスター掲示を行うとともに、啓発資材を配布し、薬物乱用防止を呼びかけた。

県が設置するコロナワクチン接種センターにおいて、ワクチン接種者に対して啓発資材・パンフレットを配布した。

交通広告を利用し、薬物乱用防止広報活動を実施した。



富山県



石川県

活動主体

県、警察本部、金沢市保健所、薬剤師会、保護司会、医薬品登録販売者協会、医薬品配置協議会、ライオンズクラブ、更生保護女性連盟、BBS連盟、ボーイスカウト、ガールスカウト等

活動状況

①6・26ヤング街頭キャンペーン
中止

②地域団体キャンペーン

6月20日から7月19日までの期間、薬剤師会等の地域団体の協力を得て、薬局や生活衛生営業施設等にポスターを掲示して啓発を図るとともに、募金箱を設置し、国連支援募金への協力を呼び掛けた。

③その他

7月8日から開催された第104回全国高等学校野球選手権石川大会の期間中に、関係機関の協力を得て、横断幕・ポスターを掲示し球場に応援に来た学生ら若者に薬物乱用防止の啓発を行った。

県が設置したワクチン接種センターにおいて、特設コーナーを設け、接種に訪れる人を対象に啓発資材・パンフレットを配布した。

いしかわ総合スポーツセンターにおいて、関係機関の協力を得て、特設コーナーを設け、施設に訪れる人を対象に啓発資材・パンフレットを配布した。



石川県



福井県

活動状況

①6・26ヤング街頭キャンペーン
例年ショッピングセンター等で実施していた街頭キャンペーンは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を鑑み、中止とした。

②地域団体キャンペーン

病院・診療所・歯科診療所、薬局・薬店等の各関係機関・団体および市町に「ダメ。ゼッタイ。」普及運動啓発ポスターの掲示および募金箱の設置を依頼し、薬物乱用防止の普及啓発と国連支援募金への呼びかけを行った。

③その他

6月20日から1週間、福井県庁1階ホールで薬物乱用防止啓発パネル展を実施した。また、キャンペーン期間に限らず、各学校の要望に応じて薬物乱用防止啓発パネル展および薬物乱用防止教室を実施し、若年層への薬物乱用防止について啓発を行った。



福井県

山梨県

月 日	開催場所	活動主体	参加人員	活動状況
6月20日から7月19日	県内各関係団体	県、県薬物乱用対策推進本部、県・各地区薬物乱用防止指導員協議会、県警察本部、警察署、市町村、ライオンズクラブ、ロータリークラブ、医師会、歯科医師会、薬剤師会、医薬品登録販売者協会、医薬品配置協議会、クリーニング生活衛生協同組合、学校、ボーイスカウト、ガールスカウト等	約750人	地域団体キャンペーン 各関係機関・団体や市町村役場等にリーフレットその他啓発資材等の配布を行うとともにポスターの掲示、募金箱の設置等を依頼し、薬物乱用防止の働きかけを行った。



山梨県



長野県

活動主体
「ダメ。ゼツタイ。」普及運動長野県実行委員会 企画4機関・22団体 県、県薬物乱用対策推進協議会、地区薬物乱用対策推進協議会、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県医薬品卸協同組合、県製薬協会、県医薬品配置協議会、県保護司会連合会、県子ども会育成連合会、ライオンズクラブ国際協会334-E地区、国際ロータリー第2600地区、県ホテル旅館生活衛生同業組合、県美容業生活衛生同業組合、県クリーニング生活衛生同業組合、県理容生活衛生同業組合、県公衆浴場業生活衛生同業組合、日本ボーイスカウト長野県連盟、ガールスカウト長野県連盟

活動状況
① 6・26ヤング街頭キャンペーン(中止) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から今年度の街頭キャンペーンは中止した。 ② 地域団体キャンペーン 病院・診療所・歯科診療所、薬局・薬店、理・美容所、クリーニング店、ホテル・旅館、公衆浴場、自動車教習所等約9,000施設において、ポスターの掲示と一声運動を実施した。 また、薬局・薬店約1,100店舗の店頭で募金箱を設置し、国連支援募金に協力した。 ③ その他 FM長野でラジオスポットCMを放送し、広報啓発を行った(実施回数:15回)

岐阜県

活動状況
① 6・26ヤング街頭キャンペーン (中止) ② 地域団体キャンペーン 岐阜県薬物乱用推進本部を構成する各関係団体、県内各高等学校・大学等に対して、ポスターの掲示や募金箱の設置等の協力依頼を行った。

静岡県

月 日	開催場所	活動主体
① 6月27日 ③ 6月29日 ④ 7月14日	① 静岡県立下田高等学校(下田市) ② JR沼津駅(沼津市) ③ JR静岡駅(静岡市) ④ JR藤枝駅(藤枝市)	一般社団法人日本ボーイスカウト静岡県連盟、一般社団法人ガールスカウト静岡県連盟、ライオンズクラブ国際協会334-I地区、国際ロータリー第2620地区、国際ソロプチミスト静岡、一般社団法人静岡県医師会、一般社団法人静岡県歯科医師会、公益社団法人静岡県薬剤師会、静岡県医薬品登録販売者協会、公益社団法人静岡県病院協会、静岡県配置医薬品協議会、静岡県医薬品卸業協会、静岡県製薬協会、静岡県理容生活衛生同業組合、静岡県美容業生活衛生同業組合、静岡県クリーニング生活衛生同業組合、静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合、静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合、静岡県食品衛生協会、静岡県保護司会連合会、静岡県更生保護女性連盟、静岡県カラオケBOX協会、日本塗料商業組合静岡県支部

活動状況
① 6・26ヤング街頭キャンペーン 6月27日、6月29日及び7月14日に、県内の主要な駅や高等学校の計4か所において、市、県警及び薬物乱用防止指導員の協力を得て、リーフレットやポケットティッシュ等の啓発資材を配布するとともに、薬物乱用防止の声掛けを行い、広く県民に対し薬物乱用防止を訴えた。 ② 地域団体キャンペーン 各市町及び関係団体等の協力を得て、県内各所においてポスターを掲示するとともに、募金箱を設置して国連支援募金への協力の声掛けを行った。 ③ その他の啓発活動 7月9日にヤマハスタジアム(磐田市)で開催されたJリーグサッカー試合会場(ジュビロ磐田VSヴィッセル神戸戦)において、来場者にポケット



静岡県

- ・ ティッシュの配布及び薬物乱用防止の声掛けを行うとともに、ハーフタイムに横断幕、のぼり旗及び「ダメ。ゼッタイ。」くん着ぐるみによる場内周回啓発を行った。また、試合会場に設置されたマルチビジョンにおいて、県独自で制作した大麻乱用防止啓発動画（15秒）の発信を行った。
- ・ 県内1局の地上デジタルテレビ及びケーブルテレビ1局においてヤング街頭キャンペーンの実施状況を放送した。
- ・ 県内2局の地上デジタルテレビのデータ放送及びケーブルテレビ3局において「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の広報スポットを放送した。
- ・ 県内2市の広報紙及び県内新聞3紙に、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動及び薬物乱用防止に関する記事を掲載した。
- ・ 県内ラジオ放送局1局に出演し、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動の広報を行った。
- ・ 県庁や商業施設等のデジタルサイネージにおいて、県独自に制作した大麻乱用防止啓発動画（15秒）の発信を行った。
- ・ 保健所において、薬物乱用防止啓発パネル等によるパネル展示を開催するとともに、商業施設等においてポスター掲示や、リーフレット・ポケットティッシュの配架等を行った。
- ・ 静岡県や静岡県教育委員会の公式LINE、Facebook、InstagramなどのSNSを活用して、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動及び薬物乱用防止に関する情報発信を行った。

愛知県



静岡県

月日	6月26日、7月13日
開催場所	愛知県内
活動主体	愛知県
参加人員	35名
活動状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県、保健所等において、募金箱の設置及び啓発資材の配布を行った。 ・ 名古屋大須商店街において、ヤング街頭キャンペーンを行った。ボーイスカウトや愛知県警察と啓発資材（ウェットティッシュ）を配布し、薬物乱用防止を呼びかけた。 ・ 大相撲名古屋場所において、愛知県警察等と啓発資材の配布や横断幕の設置を行った。 ・ プロ野球中日ドラゴンズ試合開催時のパンテリンドームナゴヤ、名古屋競馬場などで、場内放送、電光掲示板標示等を行い、薬物乱用防止の周知を図った。



三重県



愛知県

月日	6月20日から7月19日
開催場所	<p>三重県桑名保健所、くわなメディアライヴ、JR桑名駅前、イオン桑名店、ジャズドリム長島、三重県桑名庁舎1階ロビー、三重県四日市庁舎、なやプラザ、四日市市総合会館、波木町公会所、あがたが丘集会所、悠彩の里コミュニティセンター、近鉄四日市駅北口ふれあいモール、三重県鈴鹿保健所、近鉄白子駅前、鈴鹿市ふれあいセンター、MEGADON・キョーテU・N・Y鈴鹿店、亀山市内コミュニティセンター、三重大学生協同組合（第1食堂）、三重県立看護大学、三重県立津高等学校、三重県立津西高等学校、三重県立津東高等学校、三重県松阪庁舎、松阪市健康センターはるる、大台町役場、多気町役場、明和町役場、三重県伊勢庁舎ロビー、イオン阿見店、バロミタス伊勢店、三重県伊賀庁舎1階ロビー及び2階フロア、アピタ伊賀上野店、近鉄名張駅前、三重県尾鷲庁舎1階ロビー、熊野市記念通り商店街、三重県立紀南高等学校計37ヶ所</p>

活動主体

主催 三重県薬物乱用対策推進本部、三重県、四日市市、薬物クリーンみえ推進協議会

参加人員

352人

活動状況

① 6・26ヤング街頭キャンペーン

県内の主要駅、ショッピングセンターなどで薬物乱用防止指導員や薬物乱用防止指導啓発団体を中心に、三重県薬物乱用対策推進本部や薬物クリーンみえ推進協議会を構成する団体等が官民一体となって、街頭キャンペーンを行った。

ポスターの掲示や薬物標本の展示、横断幕やのぼり旗を掲揚するとともに、高校生や県民にリーフレット、ポケットティッシュ等の啓発資材を配布しながら、薬物乱用防止を訴えた。

他に、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動と併せて、街頭募金を行い、国連支援募金への協力を呼びかけた。

② 地域団体キャンペーン

三重県薬物乱用対策推進本部や薬物クリーンみえ推進協議会を構成する団体等の協力を得て、ポスターの掲示、啓発資材の配布や一声運動の実施を依頼し、薬物乱用防止の働きかけを行った。

なお、地域によっては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮し、例年通りの街頭啓発は実施せず、県庁舎等において、ポスターの掲示、啓発資材の配布等により、来庁者への薬物乱用防止を訴えた。



三重県

滋賀県

活動状況

① 6・26ヤング街頭キャンペーン

街頭啓発に代えて量販店(2店舗)に薬物乱用防止啓発ポスターを設置し、啓発を行った。

② 地域団体キャンペーン

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動啓発期間には、地域団体キャンペーンとして、病院、診療所、歯科診療所、薬局、薬店、ライオンズクラブ会員の施設等、地域団体の協力を得てポスターの掲示と一声運動を実施し、併せて店頭等に募金箱を設置して国連支援募金活動に協力した。

京都府

活動状況

① 6・26ヤング街頭キャンペーン

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、6・26ヤング街頭キャンペーンは中止とした。

その代わりとして、府内保健所等に募金箱を設置し、ポスター等を用いた国連支援募金への協力の呼びかけを行った。

また、下記画像のとおり、ポスター等の掲示による啓発を行った。

② 地域団体キャンペーン

府内各種関係団体に対し、店頭等でのポスターの掲示や募金箱の設置を依頼し、キャンペーンの周知と国連支援募金への協力呼びかけを行った。

また、府内各大学・専門学校等に対し、ポスター掲示を依頼し、若年層への薬物乱用防止の呼びかけを行った。

その他、各地区薬物乱用防止指導員により小中学校の児童等を対象とした薬物乱用防止教室及びリーフレットの配布が行われ、薬物の危険性を伝えると共に本運動の周知がされた。



京都府

